

小松電機産業が開発したシート式シャッター「門番Gシリーズ」



気密性アップ 新シャッター

小松電機産業発売へ

産業用ビニール製シャッター製造の小松電機産業(松江市)は6月1日、主力のシート式シャッター「門番」の新製品「門番Gシリーズ」を発売する。従来製品より気密性や開閉速度を高めた。精密機械や食品の工場が増えている韓国や中国での販売にも力を入れる。

シートと外枠のすき間を無くして気密性を従来製品の18倍に高め、開く速度は3倍の秒速3.5にした。人や物がシートに当たると自動停止するなど安全性も高めた。

シート式シャッターは工場の出入り口や部屋の間仕切りに使う。空調効率が高まり省エネ効果があるため、衛生面を重視する電機や食品メーカーからの需要が高まっている。

同社は門番を1985年に発売し、国内外で約12万台を販売している。Gシリーズは幅3.5m、高さ3.5mサイズで90万円。初年度は国内外で千台の販売を計画する。(長久豪佑)

シートと外枠のすき間を無くして気密性を従来製品の18倍に高め、開く速度は3倍の秒速3.5にした。人や物がシートに当たると自動停止するなど安全性も高めた。

シート式シャッターは工場の出入り口や部屋の間仕切りに使う。空調効率が高まり省エネ効果があるため、衛生面を重視する電機や食品メーカーからの需要が高まっている。

同社は門番を1985年に発売し、国内外で約12万台を販売している。Gシリーズは幅3.5m、高さ3.5mサイズで90万円。初年度は国内外で千台の販売を計画する。(長久豪佑)